

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	1
会計	款	項
一般	3	1

事業名	高齢者福祉事業	
	2	人にやさしいまち
施 策	2-2	支えあいを実感できるまちをつくる
	2-2-3	高齢者福祉の推進
	④	保健福祉サービスの推進
主要施策	⑤	生きがいづくりと社会参加の促進
	⑥	高齢者が住みよい安心なまちづくりの推進

## (1) 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	介護保険サービスを補足する形で提供するサービスなどを推進し、たとえ介護が必要となつても高齢者が住み慣れた自宅で生活できるような体制を構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる。
事業内容	緊急通報業務・・・一人暮らし高齢者等で発作を生じる持病がある方に緊急通報装置の設置を行う。 シニアクラブ補助事業・・・地域の高齢者による相互支援活動等に対し助成する。 シルバー人材センター補助事業・・・高齢者の社会参加の促進、生きがい就労への支援を行う。 ホームケア事業・・・在宅寝たきり高齢者等に対し、おむつ代等の助成を行う。			

## (2) 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）
		1 緊急通報装置設置台数	31	27	台	→	45
2	シニアクラブ会員数	2,316	2,232	2,177	人	↑	2,600
3	シルバー人材センター会員登録者数	274	305	293	人	↑	310
4	おむつ助成人数	67	67	62	人	→	75
5	寝具洗濯乾燥サービス費用利用回数	5	4	0	回	→	8
6	理美容サービス費用利用回数	27	25	31	回	→	36
		平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		平成31年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B		21,989		22,289		29,152	
財源 内訳	直接事業費A	21,989		22,289		25,390	
	うち一般財源	21,989		22,289		25,390	
人件費（千円）B		0		0		3,762	
内訳	一般職員（人・千円）	0		0		0.57	3,762
	臨時職員（人・千円）	0		0		0	

## (3) 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善&lt;※主管課長記入&gt;

## (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

## (2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	シニアクラブ、シルバー人材センター等については、会員数の伸び悩みが問題であるが、同時に町の財政状況から補助金の見直し等も必要となる。
②H30年度に実施した取り組み	各事業の実施要綱等に基づき、事業を実施した。シニアクラブ補助金、シルバー人材センター補助金等について、今後の見直しに向けた検討を実施した。	④今後の改善計画	補助金について、対象経費についての仕分けが必要となる。